

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲	第 3265 号	氏名	上原 明仁
論文審査担当者		主査 砂川 正隆 教授 副査 泉崎 雅彦 教授 副査 内田 直樹 教授		
<p>論文題名 : Patient- and Therapist-related Risk Factors for Adverse Events in Acupuncture and Moxibustion in Japan: Multi-center Survey of Acupuncture and Moxibustion Teaching Clinics.</p> <p>(鍼灸有害事象に対する患者および施術者のリスク因子の検討 – 鍼灸師養成学校附属施術所での多施設共同調査–)</p> <p>掲載雑誌名(巻・号・頁・掲載年) : Medical Acupuncture (掲載時期未定)。</p> <p>鍼灸の有害事象に関する発生因子分析はこれまでに報告がない。申請者は、患者と施術者に関する鍼灸の有害事象の発生因子を調査することを目的として、2016年6月から11月までの6ヶ月間に鍼灸施術所4施設で鍼灸施術を受けた全患者と、施術を担当した全施術者に対して後ろ向き観察研究を行なった。調査項目は人数、年齢、性別、施術回数、AEsの数・内容、患者の基礎疾患、施術者の臨床年数であり、診療録などからデータを収集した。</p> <p>その結果、患者は615名、施術者は113名、総施術回数4369回中に有害事象は421回(9.6%)発生し、有害事象数には患者および施術者の性別間で有意差を認めた。さらに有害事象の有無を目的変数としてロジスティック解析を行い、女性患者と臨床年数の少ない施術者は有害事象発生リスクを上昇させる因子に、肝疾患保有患者はリスクを低下させる因子になることを明らかにした。</p> <p>本論文は本邦で数少ない鍼灸領域の分析的疫学研究であるとともに初めて有害事象の発生因子を明らかにしたもので、本学大学院学位論文(博士)審査基準を満たしており、学位論文に値すると判断した。</p>				

(主査が記載)